

担当教員 菊澤律子				
開始時期 後期	開講期間 半期	科目番号 20DCSd04	授業形態 講義・演習	単位 2
キーワード 言語学、歴史言語学、言語変化、再建		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 比較言語研究演習Ⅱ				
科目名称：英語 Seminar Ⅱ (Linguistics)				
科目の概要：日本語 歴史（比較）言語学				
科目の概要：英語 Historical (Comparative) Linguistics				
科目の目的： 歴史（比較）言語学の基礎的な考え方や方法論を踏まえ、言語変種の存在や社会方言の分布が持つ背景を客観的にとらえることを目的とする。また、人間の言語の変化や再建の手法を身につけ応用できるようになることで、言語変化を社会や文化の営みと関連づけることができるようになる。				
学習成果・習得する技能や知識： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史言語学の基礎的な考え方を理解する。</li> <li>・ 言語変化の分析や比較再建の方法を身につけ、現在話されてる言語の過去について科学的な分析ができるようになる。</li> <li>・ 言語変化の具体的な事例を社会的背景と結びつけることができるようになる。</li> </ul>				
成績評価方法・基準： 授業でのディスカッションにおける参加貢献度 60% 研究レポートの評点 40%				
授業内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テキストを読みすすめ、方法論上の問題点についてディスカッションを進める。</li> <li>・ 各自が関心を持つテーマでプロジェクトを設定し、毎回進捗状況について報告すると同時に、研究レポートにまとめて提出する。</li> </ul>				
日程： 週一回、全 15 回。ただし、曜日や時間等については、講師および受講生のスケジュールに合わせて調整する。				
実施場所： 国立民族学博物館大学院棟演習室				

<p>使用言語： 日本語もしくは英語</p>
<p>使用言語： Japanese and/or English</p>
<p>その他使用言語： とくになし</p>
<p>準備学習： 以下のテキスト・図書の内容理解。(受講前の質問も受け付ける。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <i>Language Files: Materials for an Introduction to Language and Linguistics</i>, 11th Edition. Department of Linguistics, The Ohio State University, 2011.</li> <li>■ 黒田龍之助『ことばは変わる—はじめての比較言語学』白水社、2011.</li> </ul>
<p>関連科目・履修条件： 以下のテキストを履修・終了していること。(独学でもよい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <i>Language Files: Materials for an Introduction to Language and Linguistics</i>, 11th Edition. Department of Linguistics, The Ohio State University, 2011.</li> </ul>
<p>教科書・必読書： 受講者の興味とレベルに応じて、以下のいずれかもしくは抜粋をテキストとして使用する。(他の資料から教材を追加することもある。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Terry Crowley and Claire Bower. 2010. <i>An Introduction to Historical Linguistics</i>, Fourth Edition. Oxford University Press.</li> <li>■ McMahon, April &amp; Robert McMahon. 2006. <i>Language Classification by Numbers</i>. Oxford University Press.</li> <li>■ Bower, Claire &amp; Bethwyn Evans (eds.). 2015. <i>The Routledge Handbook of Historical Linguistics</i> (Routledge Handbooks in Linguistics). Routledge.</li> <li>■ Chamoreau, Claudine &amp; Léglise, Isabelle. 2012. <i>Dynamics of Contact-Induced Language Change</i> (Language Contact and Bilingualism). De Gruyter Mouton.</li> </ul>
<p>参考書・その他の教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Joseph, Brian D. &amp; Richard D. Janda (eds.). 2003. <i>The Handbook of Historical Linguistics</i>. Blackwell Publishing Ltd.</li> <li>■ 高田 博行、椎名 美智、小野寺 典子 (編)『歴史語用論入門—過去のコミュニケーションを復元する』(シリーズ・言語学フロンティア). 大修館書店、2011.</li> <li>■ 高田 博行、家入 葉子、渋谷勝己 (著)『歴史社会言語学入門: 社会から読み解くことばの移り変わり』(シリーズ・言語学フロンティア). 大修館書店、2015.</li> </ul>
<p>備考：日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講希望者は事前に担当教員に受講の可否について相談すること。</li> <li>・地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可</li> </ul>